

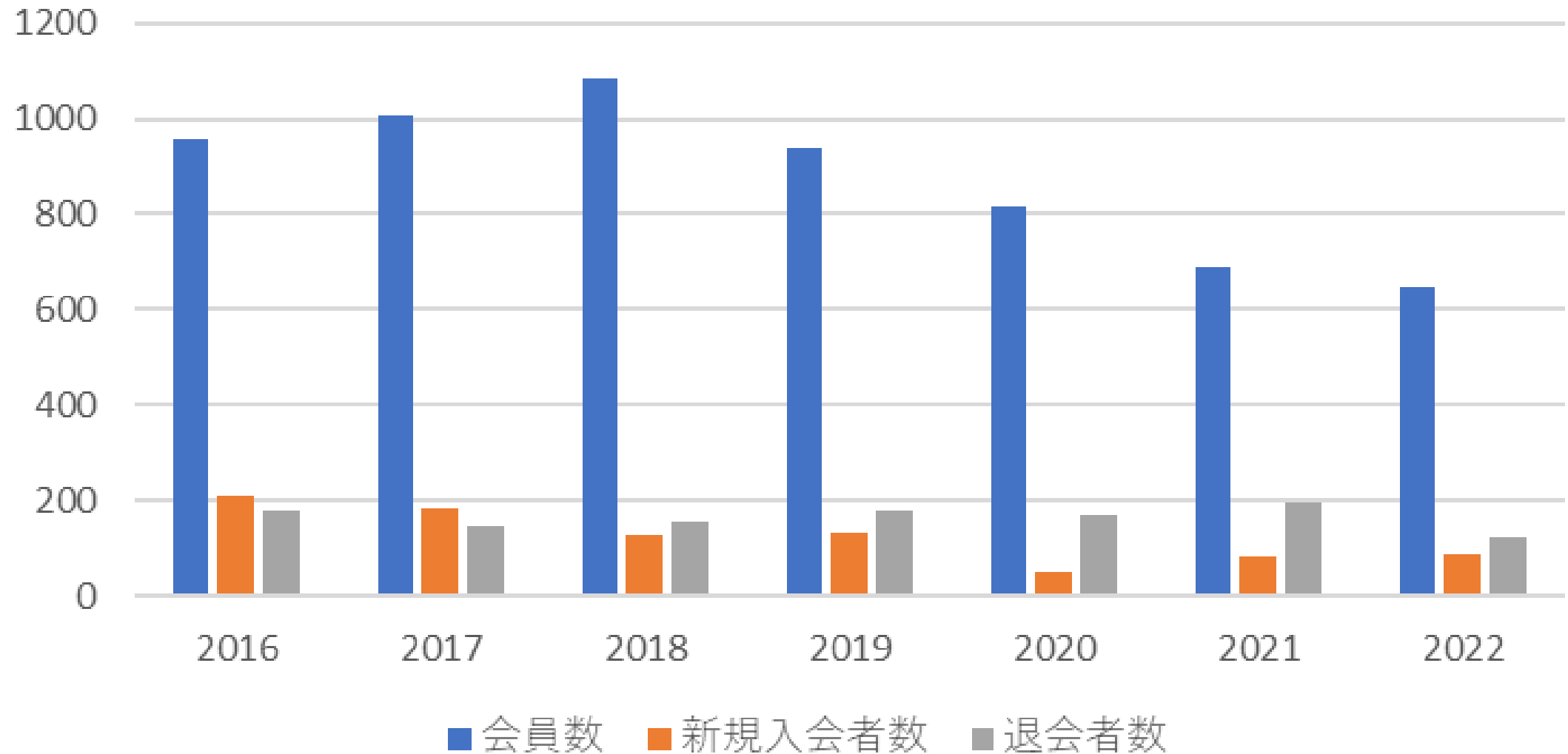
日本徒手理学療法学会 令和5年 総会

令和5年4月28日開催
オンライン

1、令和4年会員数の推移

1) 会員数(2022/12/31 時点)	647名
2) 新規入会者数(2022/1/1～2022/12/31)	89名
3) 退会者数(2022/1/1～2022/12/31)	125名
4) 1年未納者(2022 未納)	131名
2年未納者(2021、2022 年未納) 2022/12/31データ	48名

会員数の推移



2、令和4年事業報告

- 1) 総会 令和4年 3月20日 オンライン
- 2) 学術大会 令和4年 3月20日 オンライン 学会長:山崎理事
- 3) 技術講習会 合計9回開催(第297回～306回、※第299回中止)
- 4) 学術誌発行 第22巻 1号、第22巻 2号 発行
- 5) 研究助成 0件

技術講習会詳細

回	日程	テーマ	会場	講師 (敬称略)	参加者	会員	非会員	学生
297	1/29-30	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大	中山、赤坂	11	10	1	
298	3/25-3/27	Mulligan Concept AD+CMP	東京工科大	中山、赤坂	38	25	13	
299	4/30-31	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大	中山、赤坂	中止			
300	5/14-15	Mulligan Concept Upper Quarter	東京工科大	中山、赤坂	15	12	3	
301	9/3-9/4	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大	中山、赤坂	26	17	9	
302	9/6-9/11	Mulligan Concept Upper Quarter	東京工科大	中山、赤坂	15	11	4	
303	6回	マッスルインバランス改善の為の機能的運動療法	オンライン	荒木	46	19	17	10
304	7/16-17	軟部組織モビライゼーション	国際医学技術専門学校	浅田	20	9	11	
305	10/9	シュロス法	オンライン	浅田	53	25	28	
306	11/5~6	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大	中山、赤坂	15	11	4	
学会	3/20	Movementと徒手理学療法	オンライン	山崎	53	43	5	5

3、令和4年決算報告

収入の部	令和4年予算	令和4年決算	差異	備考
1、会費収入	2,500,000	2,316,000	-184,000	
会費	2,500,000	2,316,000	-184,000	延べ579名
2、事業収入	8,200,000	7,512,000	-688,000	
学術研究会	200,000	157,000	-43,000	
技術講習会	8,000,000	7,355,000	-645,000	
3、雑収入	320,000	496,975	176,975	
学術誌文献許諾使用料	10,000	12,137	2,137	
利息	500	5	-495	
源泉所得税一時預かり	300,000	484,833	184,833	
その他	9,500	0	-9,500	
当期収入合計①	11,020,000	10,324,975	-695,025	
前期繰越収支差額②	803,313	803,313	0	
合計	11,823,313	11,128,288	-695,025	

支出の部	令和4年予算	令和4年決算	差異	備考
1、事業費	8,450,000	8,222,634	-227,366	
学術研究会	150,000	92,475	-57,525	
技術講習会	7,000,000	6,868,439	-131,561	
学術誌発行	1,100,000	1,261,720	161,720	
研究助成金	200,000	0	-200,000	
2、管理費	2,500,000	2,317,295	-182,705	
事務委託費	1,174,800	1,174,800	0	査読・会員管理・会計
運営費	490,000	364,000	-126,000	事務局・技術講習会 学術大会・編集作業
会議費・旅費・事務消耗品	120,000	0	-120,000	
通信費	290,000	227,726	-62,274	
振り込み手数料	40,000	3,740	-36,260	
源泉所得税納税	300,000	537,029	237,029	
その他	85,200	10,000	-75,200	講習会返金
当期支出合計③	10,950,000	10,539,929	-410,071	
次期繰り越し収支差額①+②-③	873,313	588,359	-284,954	
合計	11,823,313	11,128,288	-695,025	

4、令和5年事業計画

1) 総会 令和5年4月28日 オンライン

2) 学術大会 令和5年7月23日 埼玉医科大学かわごえクリニック

大会長: 赤坂理事

3) 技術講習会 年10回～15回予定

4) 学術誌発行 第23巻1号、2号予定

5) 研究助成 4件予定

技術講習会予定(HP掲載済)

回	日程	テーマ	会場	講師 (敬称略)
307	1/28～	Mulligan Concept Lower Quarter	金城大学医療健康学部笠間キャンパス	赤坂、中山
308	2/11～	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大学	赤坂、中山
309	3/18～	Mulligan Concept Lower Quarter	藍野大学医療保健学部	赤坂、中山
310	4/22～	Mulligan Concept Upper Quarter	東京工科大学	赤坂、中山
311	5/20～	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大学	赤坂、中山
312	6/24～	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大学	赤坂、中山
313	7/28～	Mulligan Concept AD+CMP	東京工科大学	赤坂、中山

技術講習会予定(HP未掲載)

回	日程	テーマ	会場	講師 (敬称略)
314	7/8,9	クリニカルリーズニング	東京都立大学	永井
315	8/19.20	軟部組織モビライゼーション 上肢・頸部・体幹編	国際医学技術専門学校	浅田
316	8/25.26	Mulligan Concept Lower Quarter	東京工科大学	Vaidas Stalioraitis
317	8/27.28	神経組織の評価と徒手理学療法	東京工科大学	Vaidas Stalioraitis
318	8/29.30	Mulligan Concept Upper Quarter	東京工科大学	Vaidas Stalioraitis
319	9/9.10	膝関節に対する徒手理学療法	国際医学技術専門学校	浅田
320	10/8	脊柱側弯症に対するシュロス法(イントロダクションコース) オンラインセミナー	オンライン	浅田

5、令和5年予算案

収入の部	令和4年決算	令和5年予算	差異	備考
1、会費収入	2,316,000	2,320,000	4,000	
会費	2,316,000	2,320,000	4,000	580名計算
2、事業収入	7,512,000	8,200,000	688,000	
学術研究会	157,000	200,000	43,000	
技術講習会	7,355,000	8,000,000	645,000	
3、雑収入	496,975	480,000	-16,975	
学術誌文献許諾使用料	12,137	10,000	-2,137	
利息	5	500	495	
源泉所得税一時預かり	484,833	450,000	-34,833	
その他	0	19,500	19,500	
当期収入合計①	10,324,975	11,000,000	675,025	
前期繰越収支差額②	803,313	588,359	-214,954	
合計	11,128,288	11,588,359	460,071	

支出の部	令和4年決算	令和5年予算	差異	
1、事業費	8,222,634	8,600,000	377,366	
学術研究会	92,475	200,000	107,525	
技術講習会	6,868,439	7,000,000	131,561	
学術誌発行	1,261,720	1,200,000	-61,720	増額可能性
研究助成金	0	200,000	200,000	
2、管理費	2,317,295	2,600,000	282,705	
事務委託費	1,174,800	1,180,000	5,200	減額検討
運営費	364,000	390,000	26,000	
会議費・旅費・消耗品費	0	315,000	315,000	旅費増加
通信費	227,726	250,000	22,274	
振り込み手数料	3,740	10,000	6,260	
納税	537,029	450,000	-87,029	
その他	10,000	5,000	-5,000	
当期支出合計③	10,539,929	11,200,000	660,071	
次期繰り越し収支差額①+②-③	588,359	388,359	-200,000	
合計	11,128,288	11,588,359	460,071	

6、各種議題

事務局：会員管理システムの変更

- ・リアルタイム入金確認可(クレジットカード払い)であること
 - ・お知らせ機能があること
 - ・パスワード忘れに対して会員自ら変更可能であること
- 現在より大幅な経費削減が見込める為、次年より変更できるように進める

会計管理の変更検討

編集委員：雑誌の印刷・郵送の廃止に関する検討

→今年7月の理事会まで継続検討